



2007年3月期 第3四半期 業績概要

2007年2月1日

アンリツ株式会社
社長 戸田 博道

東証第1部:6754
(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたもの限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向
や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが
引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 当社の事業セグメントの呼称と事業内容
- サマリー
- 第3四半期業績概要
- 通期の見通し
- 07年3月期末に向けた取り組み
- 来期の市場動向とビジネスチャンス

当社の事業セグメントの呼称と事業内容



セグメント	サブセグメント	事業内容	担当事業部の 主な所在国
計測器	ワイヤレス	携帯電話端末開発・製造・保守用テスト、無線インフラ敷設・保守用テストなど	日本・米国 (英国)
	汎用	無線設備、電子部品等の開発・製造用汎用テストなど	米国・日本 (英国)
	光・デジタル・IP	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、およびネットワーク評価・保守用テストなど	日本 (米国・フランス)
	サービス・アシュアランス	携帯電話ネットワークなどのモニタリングとサービス品質保証用ソフトウェアなど	デンマーク (イタリア)
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど	日本
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機など	日本
その他		印刷はんだ検査機、光デバイスなど	日本

1. 第3四半期業績(連結)(4~12月)

売上高: 703億円(対前年同期比+15%)

営業利益: 31億円(対前年同期比+15億円)

経常利益: 14億円(対前年同期比+16億円)

2. 売上高(10~12月)

事業別: 各事業部門はほぼ計画通り

地域別: 米州・EMEAは好調、アジア他は計画通り、
国内は計画を若干下回る

3. 受注動向(10~12月)

計測器、産業機械の受注が計画を若干下回る
特にサービス・アシユアランスの受注に遅れ

4. 最近の市場動向

- 世界的に携帯基地局網整備への投資が活発
→ 北米を中心に基地局用ハンドヘルド計測器が好調
- 欧州の3G/3.5G端末関連投資は活発だが、
国内3.5G端末関連への設備投資には遅れ
- 固定網のIP化、光化への投資は活発

5. 通期見通し(連結)

前回の通期見通しと同じ

売上高: 990億円

営業利益: 70億円

第3四半期業績概要(連結)



前年同期比売上高、利益の伸張

(単位:億円)

	前第3四半期 (4-12月)実績	当第3四半期 (4-12月)実績	前年同期比 増減額
売上高	613	703	90
営業利益	17	31	15
経常利益	△ 2	14	16
税引前当期純利益	△ 1	15	15
当期純利益	△ 15	0	15
フリーキャッシュフロー	△ 68	15	83

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・営業利益(連結)



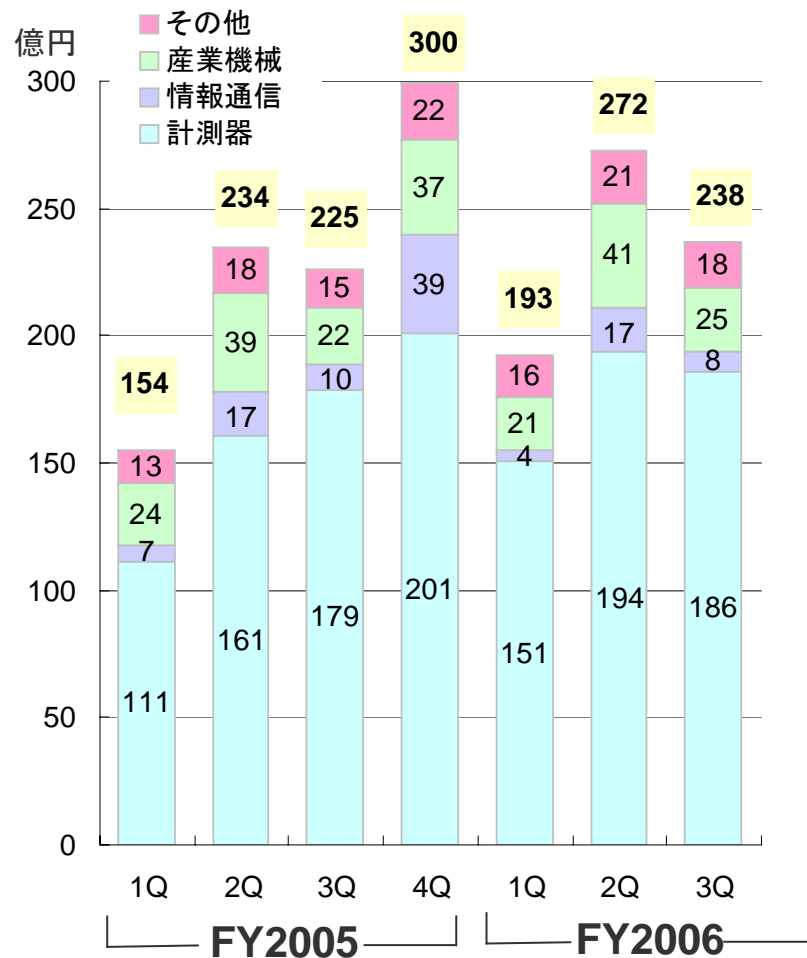
計測器の売上伸張、情報通信の利益改善

(単位:億円)

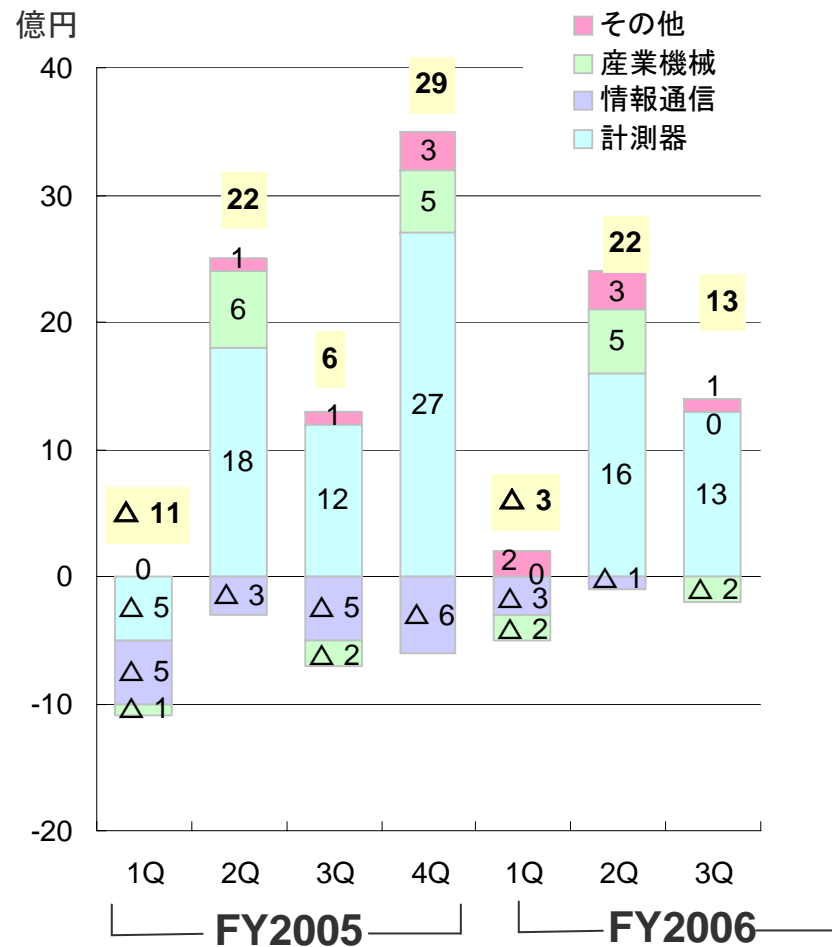
		前第3四半期 (4-12月)実績	当第3四半期 (4-12月)実績	前年同期比 増減額
計測器	売上高	450	530	81
	営業利益	26	29	3
情報通信	売上高	33	29	△ 4
	営業利益	△ 14	△ 5	9
産業機械	売上高	85	87	2
	営業利益	3	2	△ 1
その他	売上高	45	56	11
	営業利益	1	6	4

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・損益推移(連結)



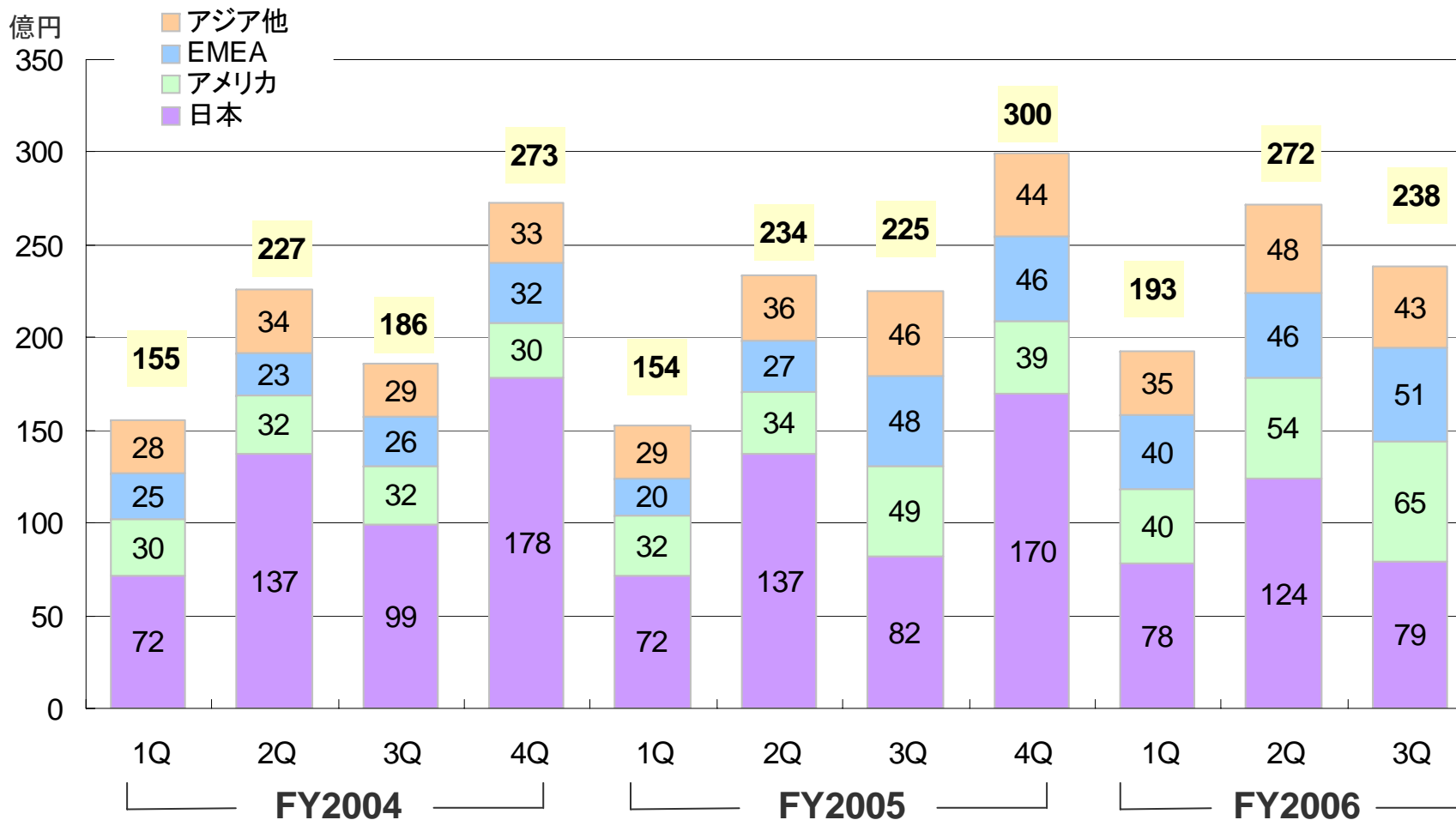
連結売上高



連結営業利益

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

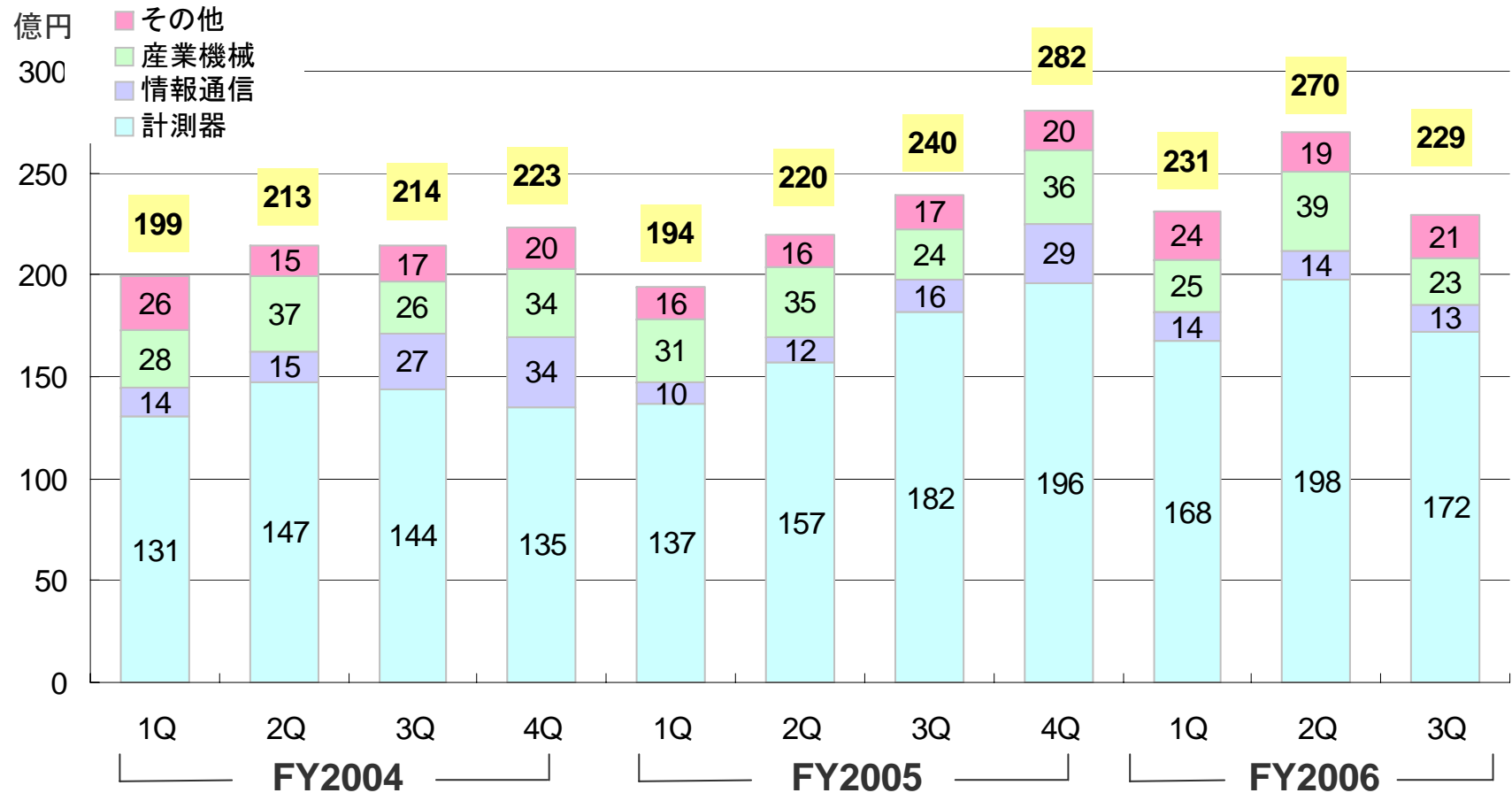
地域別売上高推移(連結)



注1) 2006年度から「ヨーロッパ」を「EMEA」(欧州・中東・アフリカ)に変更。過去のデータはすべて現在の定義に修正済み。

注2) 値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別受注推移(連結)



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

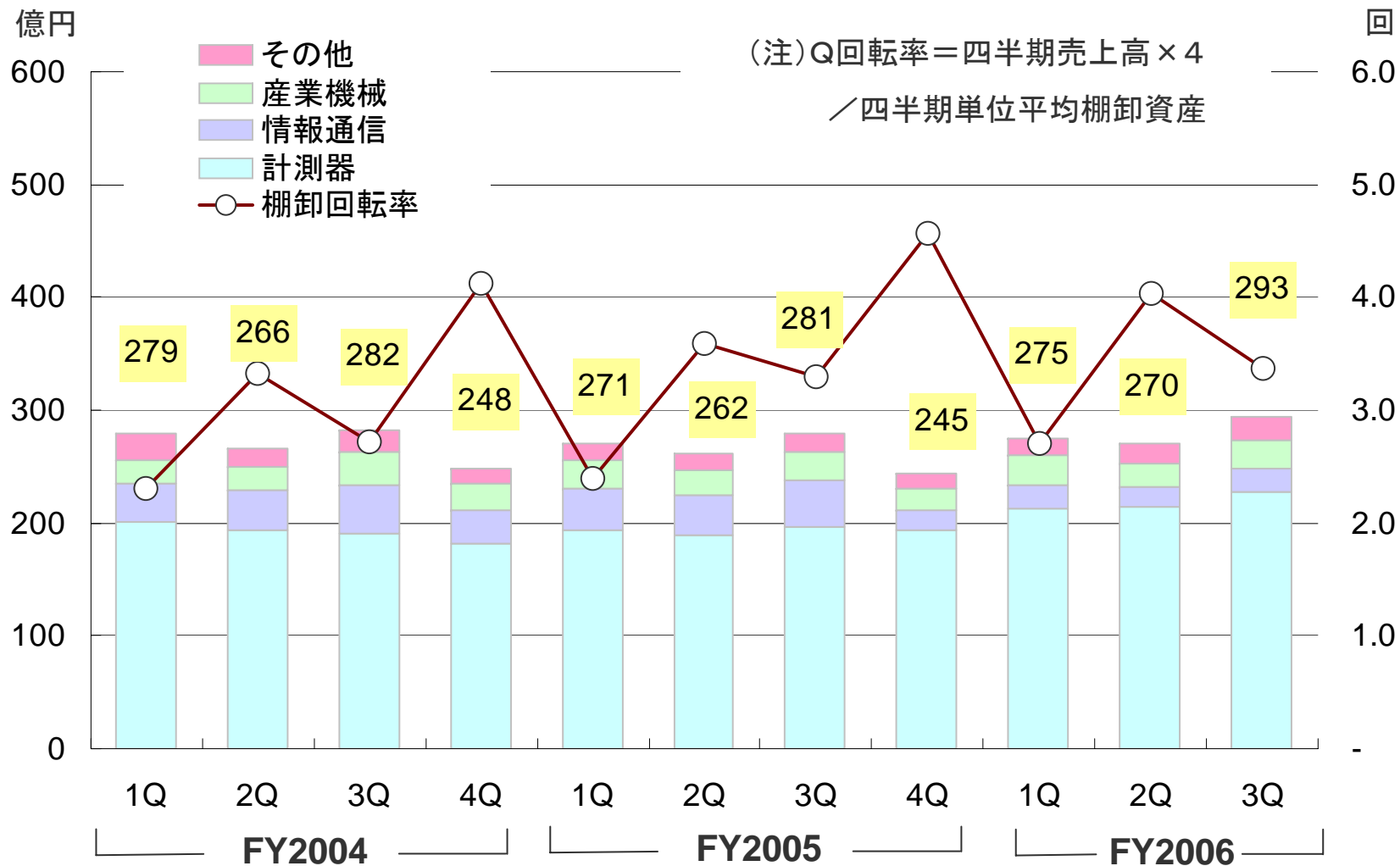
営業外・特別損益概要(連結)



単位:百万円 切捨表示

		前第3四半期 (4-12月)実績	当第3四半期 (4-12月)実績
営業利益		1,654	3,143
	金融収支	△ 704	△ 701
	棚卸資産評価損	△ 912	△ 595
	為替差損益	519	△ 402
	その他	△ 754	△ 45
営業外損益計		△ 1,851	△ 1,743
経常利益		△ 195	1,400
	固定資産等売却損益	150	△ 47
	その他	△ 19	124
特別損益計		131	77
税引前利益		△ 64	1,477

棚卸残高推移(連結)



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

キャッシュフロー概要(連結)



当第3四半期(4~12月)

- ①営業CF: 6億円
- ②投資CF: 8億円
- ③財務CF: △114億円

フリーキャッシュフロー

(①+②): 15億円

現金及び現金同等物の 期末残高

211億円

		内訳	単位: 億円 △: 減少
売上債権	22		
減価償却 のれん償却	32		
税引前利益	15	有価証券売却益	29
棚卸資産	△45	設備投資	△17
仕入債務	△1	その他	△4
税金	△12		
その他	△5		
営業CF	6		
		借入金	70
		借入金返済	△28
		配当金支払	△8
		社債	△148
		財務CF	△114
		投資CF	8

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

通期の見通し(連結)



単位:億円 △:損失

		06/3期	07/3期	
		通期実績	第3四半期 (4-12月)実績	通期予想 (前回と同じ)
売上高		913	703	990
営業利益		45	31	70
経常利益		16	14	40
税引前当期純利益		20	15	40
当期純利益		6	0	27
計測器	売上高	651	530	730
	営業利益	53	29	55
情報通信	売上高	72	29	65
	営業利益	△ 20	△ 5	0
産業機械	売上高	122	87	125
	営業利益	8	2	8
その他	売上高	67	56	70
	営業利益	4	6	7

配当: 1株当たり年間7円(うち中間配当3.5円)を予定(年初計画通り)

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

07年3月期末に向けた取り組み



- 無線網の建設・保守用ハンドヘルド計測器の受注促進
- 固定網の建設・保守用計測器の受注促進
- 国内の3.5G端末開発用計測器の受注促進
- サービス・アシュアランスの受注促進
- 事業構造改革の成果として情報通信事業を確実に黒字化
- 産業機械の海外での受注拡大

来期の市場動向とビジネスチャンス



- 3Gの世界的拡大により、端末開発と基地局整備の活発化
- 次世代ワイヤレス方式開発の本格始動
- NGNへの投資拡大
 - ◇ブロードバンドサービスの拡大
 - アクセスネットワークの建設
 - コアネットワークの高速化
 - ◇IPネットワークの通信品質への要求の高まり
 - 帯域制御装置の市場浸透
 - サービス・アシュアランスの要求の高度化
- 海外での食品安全意識の高まり
 - 産業機械事業の海外での需要増